

基準1 大学の目的			
	優れた点	更なる向上が期待される点	改善を要する点
平成25年度	◎ 学生が主役の大学創りを目指し、毎年「結城プラン」として、大学が取り組むアクションプランを策定し、このプランに沿って、1年間の改革が進められ、その達成状況を検証している。（山形）		
	○ 学長主導のもと、「信州「知の森」づくりPLAN “the FIRST” 」を作成・公表し、推進を図るとともに、学長が教職員に対して大学の向かうべき方向を直接説明する機会を設けている。（信州）		
	◎ 高等教育、学術研究を地域との関係を重視して展開することを大学の目的に明記し、その実現のために一貫した施策を展開し、成果を上げている。（岐阜）		
	◎ 社会情勢や時代の変化に対応するため、大学の目標の見直しを定期的に行っている。（北陸先端）		
	◎ 大学の使命を、沖縄県の地理的・文化的特性を踏まえて設定し、地域に貢献できる人材の育成を重視している。（沖縄県立看護）		
平成26年度	◎ 研究教育憲章、中期目標に加え、「一橋大学プラン135」「学長見解2013」などにおいて、大学設立の趣旨、理念、歴史、環境条件などを踏まえつつ、現代社会の中で果たそうとする役割や機能、個性や特色を明確かつ分かりやすく表明している。（一橋）		
	◎ 学則や大学憲章で定めている目的を達成するための4つの教育方針（学位授与方針、教育課程の編成・実施方針、入学者受入方針、教育の質の持続的向上）を、学士課程教育の基本方針「YNU initiative」、大学院修士課程・博士課程教育の方針「YNU initiative」として、大学全体と学部、研究科・学府ごとの方針を一括してまとめている。（横浜国立）		
	◎ 大学の目的に加えて、平成24年度に大学のビジョンを策定し、大学の目指す方向を明確にしている。（兵庫教育）		
	◎ 学生としての行動指針や規範となる「鹿児島大学学生憲章」及び学生が大学で修める学問を基礎に、地域とともに成長できる機会を保障した「鹿児島大学生涯学習憲章」を制定している。（鹿児島）		
	◎ 校訓「恥を知れ」を人格形成の基本理念と位置付け、さらに、養成する人材像を時代の進展に合わせて見直した「関係的自立」を教育理念の基本とする教育を実践している。（大妻女子）		
平成27年度	◎ 大学の目的を「総合コミュニケーション科学」を主とする科学技術の教育研究に置く と、簡潔かつ具体的に定めている。（電気通信）		
	◎ 大学の基本使命として大学憲章を掲げ、「ものづくり」「ひとづくり」「未来づくり」という、平易で覚えやすい標語で表現している。（名古屋工業）		
	○ 平成24年に「「山口大学国際化推進宣言」を定め、国際化に対する基本方針を明確にするとともに、平成27年に10年後のグローバル化や少子高齢化、社会経済状況の変化を見据えて、教育、研究、地域連携、グローバル化のそれぞれの視点から中長期目標を「明日の山口大学ビジョン2015」に定め、公表している。（山口）		
	◎ 大学院の目的を実現するために、起業実践に加えて新事業開発による産業創成を目指す形で具体化することによって、社会からの要請に応えている。（光産業創成大学院）		